

## 家族のための代替案：認知行動療法

謹啓 新緑の候、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、カウンセリング研究所ではこのたび、第3回 AF-CBT ワークショップを開催する運びとなりました。AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部の D.J.Kolko が開発したプログラムです。トレーニングは、① 3日間のワークショップ、② 1年間の継続研修（月1回の Web コンサルテーション）、③ アドバンス研修（Web 会議形式。2018年3月中旬開催予定） からなる「1年間の学習プログラム」というスタイルで実施されます。参加を希望される方は、申込フォーム (<http://afcbt-japan.org/workshop.html>) からお申し込みください。

ワークショップから始まる1年間、皆さまと学びあうことを楽しみにしております。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。 謹白



講師：AF-CBT シニアトレーナー  
Meghan Shaver, MSW, LSW

日 程：2017年9月28日（木）～ 9月30日（土）

時 間：9:30-17:00（初日受付：9:00～）

会 場：大正大学 巣鴨校舎

参加費：60,000 円

資料代：5,000 円（セッションガイド代を含む）

申込み：申込みフォームからお申し込みください

<http://afcbt-japan.org/workshop.html>

※ 切：2017年7月7日（金）

\* ただし、定員に達し次第受付終了とさせていただきます

\* 継続研修・アドバンス研修の詳細については別途ご案内いたします。

### \*AF-CBT のご紹介\*

AF-CBT は、子どもへの身体的虐待や暴言などの問題を抱えた家族の回復のため、ピッツバーグ大学医学部の D.J.Kolko が開発したプログラムです。プログラムには、学習理論や行動理論、家族システム、認知療法、発達の被害者学など様々な観点から技法や理論が取り入れられ、養育者の不適切な関わりや対応を減らすとともに、虐待の影響による子ども側の情緒・行動上の問題の改善を図り、家庭が安全で、穏やかな場となることが目指されます。親子がともに参加するため、親と子、さらに親子関係のそれぞれに対して治療的な介入ができることが特徴です。なお AF-CBT は、NCTSN（米国子どもトラウマティック・ストレスネットワーク <http://www.nctsn.org/>）により、エビデンスに基づく治療法として推奨されています。

AF-CBT の詳細については、（日本）<http://afcbt-japan.org/>（米国）<http://www.afcbt.org/> をご参照ください。

大正大学カウンセリング研究所では、2012年11月、開発者である Kolko 博士の協力のもと、国内初のワークショップを開催しました。月1回の Web コンサルテーションでは AF-CBT 導入ケースについて、講師からの具体的な助言・指導を受けることができました。2014年開催の第2回ワークショップに続き、このたび第3回のワークショップを開催する運びとなりました。国内での実践は始まったばかりですが、年々ケース数も増えており、有効性を実感するという声が寄せられています。

<AF-CBT ワークショップ事務局>

大正大学カウンセリング研究所

AF-CBT Japan 代表：犬塚峰子

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

TEL：03-5394-3035/FAX：03-5394-3041